

2006/12/2 第4回ステークホルダー会議

全体討議資料
-前回の班別討議から専門家への指示へ-

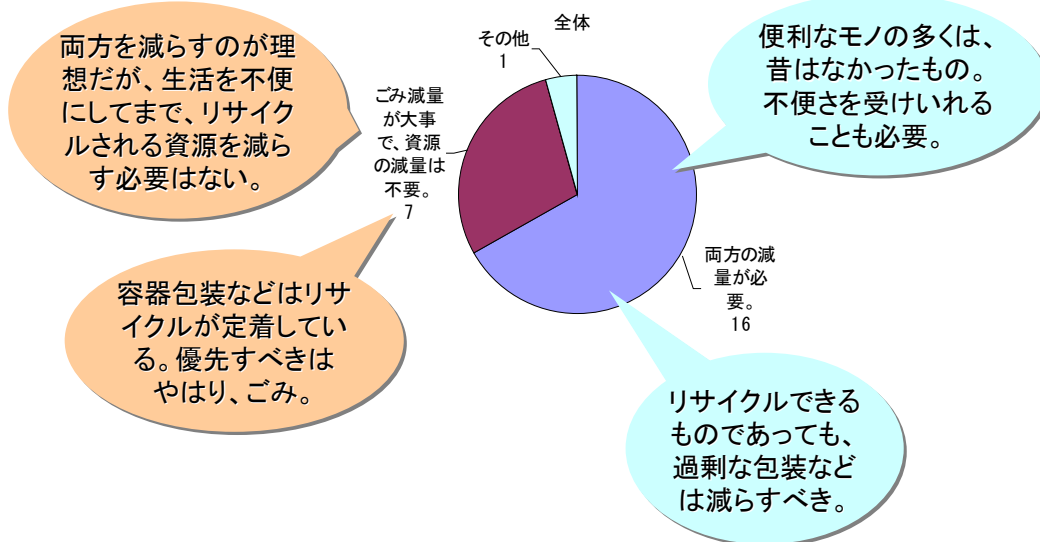
なごや循環型社会・しみん提案会議
実行委員会事務局

① ごみ+資源の削減, ごみの削減

(1) ごみ+資源の削減?ごみの削減?について【問1】

討議担当:Bグループ

問1 ごみ+資源の削減?ごみの削減?



3

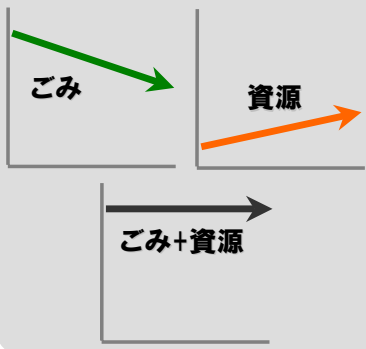
(2) ごみ+資源の削減?ごみの削減?についての全体討議

班別討議の集約

「ごみ+資源を減らすべき」の意見が大勢を占めます。
ただし、リサイクルされているものを減らすべきか否かについては意見が分かれました。

事務局からの確認

①従来は、資源分別の推進で、ごみは減り、資源は増えました。
ごみ+資源は横ばい。



②例えば、ごみ減量策として「生ごみリサイクル」を考えた場合、**ごみは減りますが、資源は増えます。**
(つまり、従来型の延長です。)

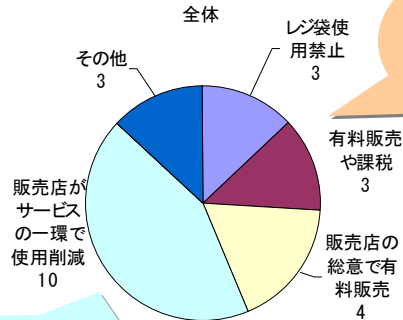
③よって、大勢を占める「ごみ+資源の減量」は、ごみ・資源のどちらを減らすかは別として、「これまでの分別徹底」ではなく、**ごみ・資源そのものを減らす必要があります。**

「ごみ+資源の減量を減らすべき」の意見の方はこの「**ごみ・資源そのものを減らす**」ことを支持していると理解してよろしいでしょうか?

(3) レジ袋の削減方法について【問16】

討議担当：Bグループ

問16 レジ袋の削減方法は？



原則ないものとし、
欲しい人は買えばよい。
マイバック運動は既に実施。
浸透させるには規制が必要。

使用禁止や有料化などの
規制ではなく、
店・消費者の自主的な取組み
として削減すべき

規制ではなく、
店・消費者の間での
協定も考えられる

5

(4) レジ袋の扱いについての全体討議

この整理でよいか？
追加の意見は？

班別討議の集約

「レジ袋は削減すべき」の意見は概ね一致しています。

ただし、

具体的な削減の方法については、
次の2つに意見が分かれています。

- 行政による規制で削減すべき！
- 店・消費者の自発的な取組みで削減すべき？

Bグループからの参考意見

店・販売店の自発的な取組みとしては、「エコくーびょん」などの従来の取組みに加え、「店と消費者の協定により有料販売にする」といった一歩進んだ取組みも提案されています。

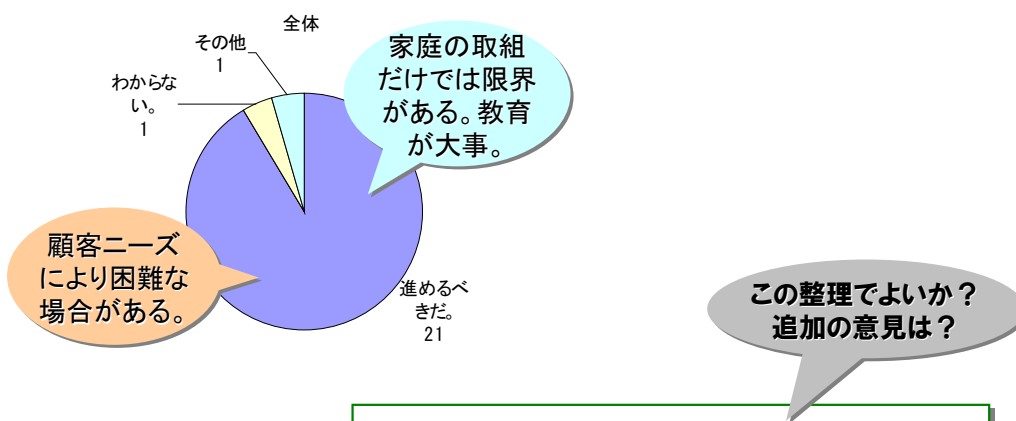
② 生ごみ対策

7

(1) 生ごみそのものの減量について【問12】

討議担当：Bグループ

問12 生ごみそのものを減らすことについて



班別討議の集約

「生ごみそのものを減量すべき」
については基本的に意見が一致しています。

8

(2) 生ごみの扱いについて【問10】

問10 生ごみの扱いは？

討議担当：Bグループ

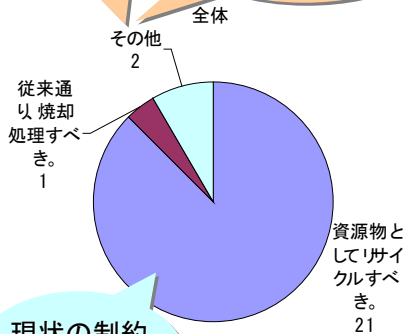
生ごみリサイクルは、種々の制約がある。

コストや環境負荷などの判断材料が必要。

この整理でよいか？
追加の意見は？

班別討議の集約

生ごみの扱いについては、
「リサイクルすべき」が大勢
を占めています。



現状の制約にとらわれず、
推進すべき。

制約とは・・・
・技術面
・法制面
・地域特性など

ただし、行政サイドより、
生ごみリサイクルの可否や、
リサイクル手法は何が良いかについては、
現状の制約を踏まえ、慎重に判断すべき！

↓
判断には、コストや環境負荷など
具体的な判断材料が必要

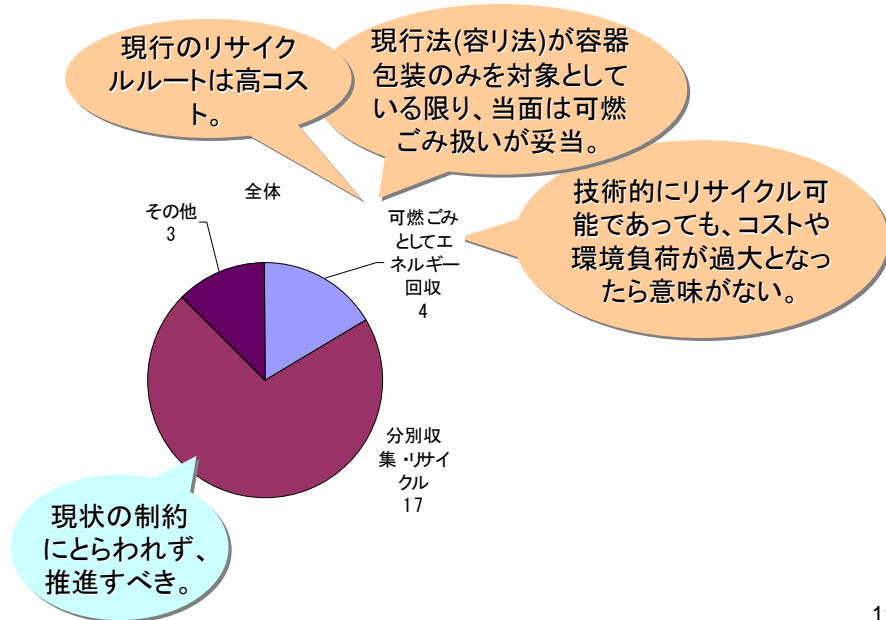
の意見が出されています。

③ リサイクルの方向性

(1) 容器包装以外のプラの扱いについて【問13】

討議担当:Cグループ

問13 容器包装以外のプラの扱いは？



11

(2) 容器包装以外のプラの扱いに関する全体討議

この整理でよいか？
追加の意見は？

班別討議の集約

容器包装以外のプラスチックの扱いについては、
「分別収集・リサイクルすべき」の意見が大勢を占めています。

ただし、行政サイドより、

現状の制約(法制面・技術面・コスト面など)を踏まえた場合、
当面は、当面は可燃ごみ扱い(焼却+エネルギー回収)が妥当

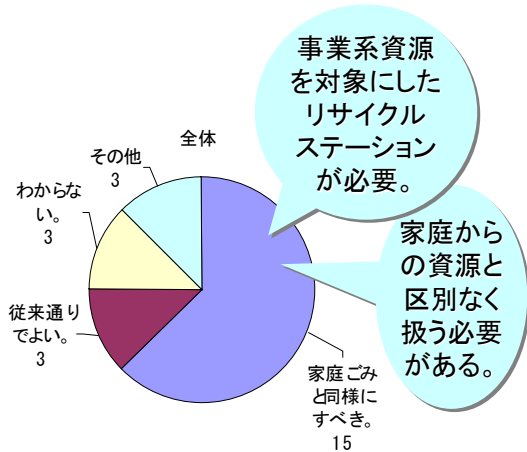
の意見が出されています。

12

(3) 事業系資源、資源の循環型社会について【問19・21】

問19 事業所からの資源の扱いは？

討議担当:Aグループ



この整理でよいか？
追加の意見は？

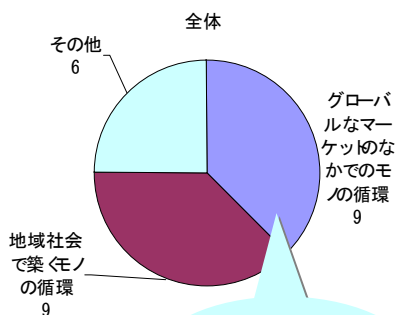
班別討議の集約
<合意点>
 事業系資源のリサイクル推進は必要！

事務局からの質問
<確認したい点>
 家庭からの資源と区別なく…の意見が出ているが、
 ↓
 あくまで「事業所からの資源は自己責任」の前提をおいてよいか？

(3) 事業系資源、資源の循環型社会について【問19・21】

問21 資源循環で重きを置くのは？

討議担当:Aグループ



製品系のリサイクルは、ますますグローバルに！

「先進国のごみが、途上国の資源に」の流れには抵抗がる。海外輸送は環境負荷も大きい。

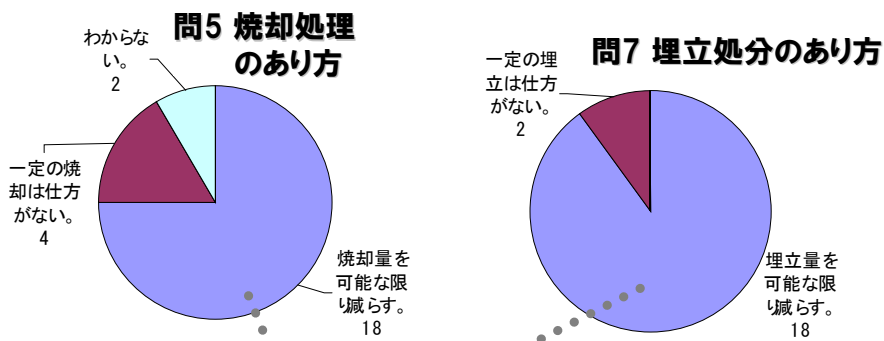
班別討議の集約
 製品系資源について、グローバルな循環が一層進むの意見が大勢を占めました。一部、グローバルな循環への抵抗意見あり

事務局からのリクエスト
 アンケートからは、「**グローバルな循環と地域循環を上手く組み合わせるべき**」の意見が出ています。（「その他」の記述）
 さらに、過去の会議では、「**地域での循環に重きを置くべき**」の意見も出ています。
 ↓
 今後、重点をおくべき資源循環とはどのようなものか？について追加的な意見を求めます。

④ 焼却の方向性
⑤ 埋立の方向性

(1) 焼却・埋立の方向性について【問5・7】

討議担当:Cグループ



一定量の焼却(埋立)を前提にするか?
脱焼却(埋立)か?

ごみが処理できないといった最悪の状態は絶対に避けたい。

脱焼却(埋立)の現実妥当性を考えると、一定量は仕方ない。

短期間での脱焼却(埋立)は無理だが、「15年後」に半減させるといった覚悟・決意が必要。

焼却・埋立を極力回避すべきは、グループ内で一致。

(2) 焼却・埋立の方向性に関する全体討議

この整理でよいか？
追加の意見は？

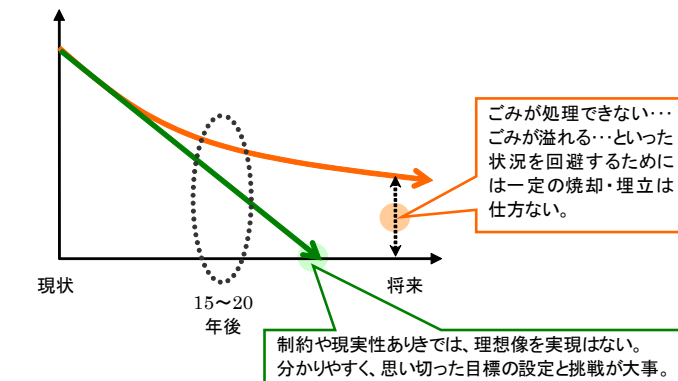
班別討議の集約

「焼却・埋立を極力回避する！」については、意見の一致がみられます。

ただし、その取組姿勢には、次の2つに意見が分かれています。

- 現状の制約を考慮し、目標を設定すべき！
- 現状の制約にとらわれず、思い切った目標の設定と挑戦が必要！

焼却・埋立量



事務局からの リクエスト

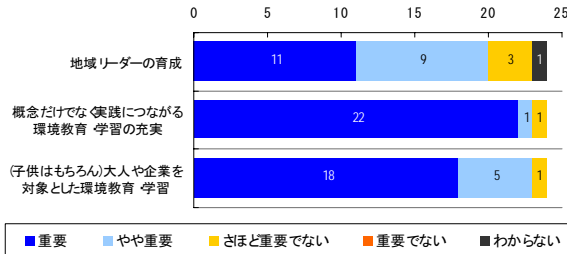
埋立量の最少化策
の1つである
ガス化溶融・灰溶融
の位置づけについて
意見を求めます。

⑧ 教育・人材育成

⑩ 価値観・ライフスタイル

教育・人材育成, 価値観に関する全体討議【問24】

●教育・人材育成の重要度

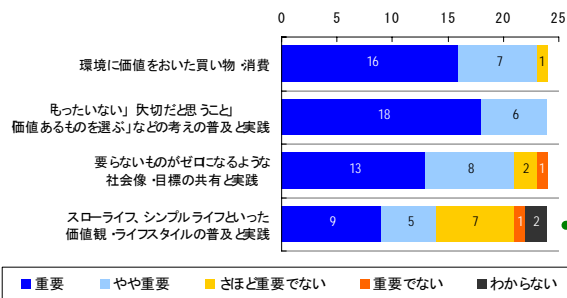


この整理でよいか？
追加の意見は？

意見分布

「やや重要」も含めれば、殆どがその重要性を認める。

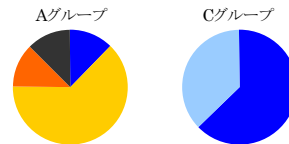
●価値観・ライフスタイルの重要度



事務局からのリクエスト

スローライフ、シンプルライフなどの価値観について、意見が分かれる。

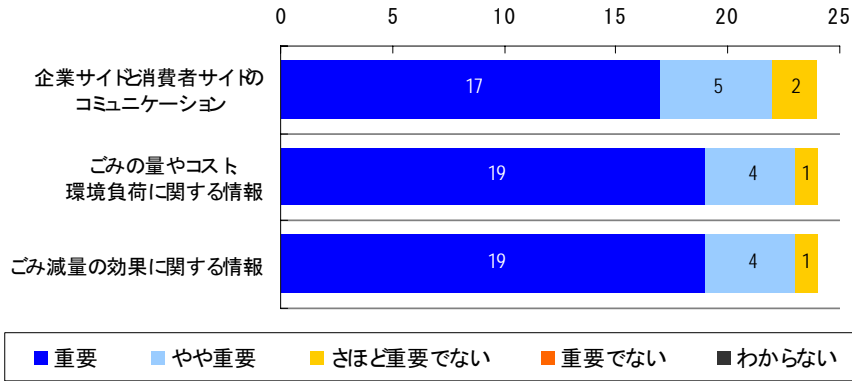
追加・補足の意見を求めます。



⑨ 情報・コミュニケーション

情報・コミュニケーションに関する全体討議【問24】

●情報・コミュニケーションの重要度



この整理でよいか？
追加の意見は？

意見分布

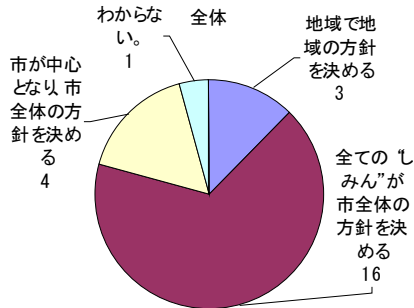
「やや重要」も含めれば、殆どがその重要性を認める。

⑦ 意思決定, 取組みの場, 役割分担

(1) 意思決定に関する全体討議【問22】

討議担当:Aグループ

問22 方針決定の方法



意見の集約

- 市全体か、地域かは、品目によって異なる。
- 地域で取り組めるものは、地域で行うべき。
- 市の方針は大枠に止めが決め、具体的な行動は地域の自発性を求めるものがあるのもよい。

この整理でよいか？
追加の意見は？

事務局からのリクエスト

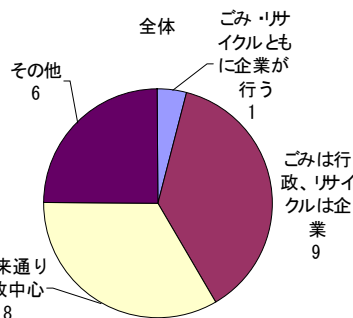
地域の自発性を求めながら
展開していく取組みとはどんなものか？
意見を求めます。

23

(2) 役割分担について【問23】

討議担当:Aグループ

問23 ごみ・リサイクルの役割分担



企業は、リサイクルできるものしか集めない。結果としてごみが増えるのでは？

リサイクル資源は市況に影響をうける。将来も安定的かどうか分からない。

リサイクルは企業に。
効率的な事業展開が期待できる。
税金を財源にしている限り、ごみになりにくい・リサイクルし易い製品づくりは進まない。

24

(3) 役割分担に関する全体討議

この整理でよいか？
追加の意見は？

班別討議の集約

何を分担するか？が共有しにくいテーマ設定でしたが、
(リサイクルなど、具体的な作業を誰がやるかは別として)
リサイクルに要する費用は企業負担を原則とする

については、概ね一致がみられます。
(意見一致の兆しがみられました。)

↓
改めて

事務局からのリクエスト

リサイクルの仕組みづくりは行政中心に行うことを前提に、

リサイクル事業は誰が(主体で)やるべきか？
その際の費用は誰が負担すべきか？

についての意見を求めます。

25

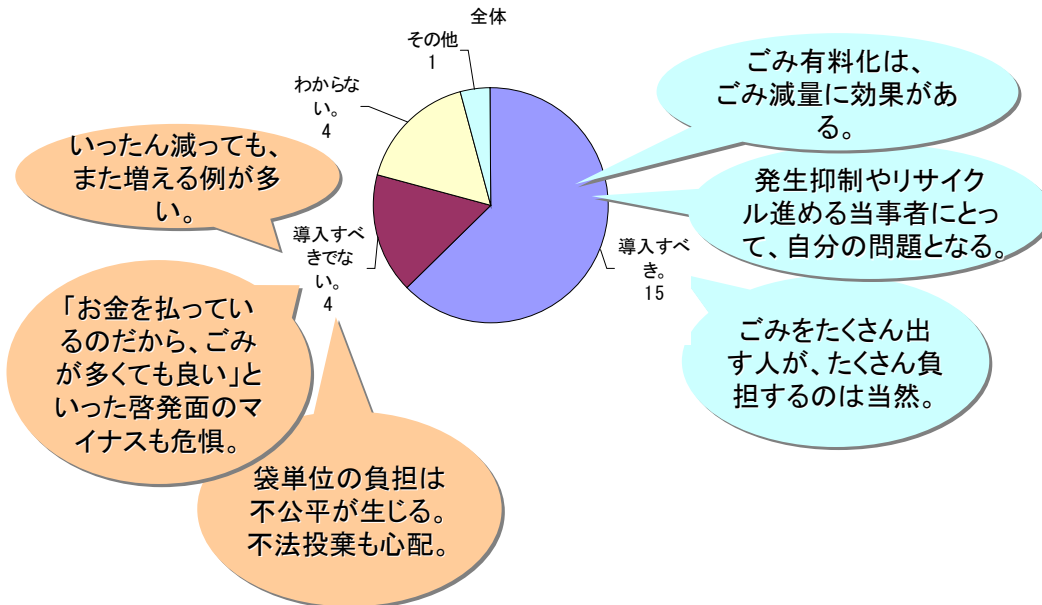
⑥ 費用負担, ごみ有料化など

26

(1) 費用負担, ごみ有料化について【問14】

討議担当:Aグループ

問14 ごみ有料化



27

(2) 費用負担, ごみ有料化に関する全体討議

この整理でよいか？
追加の意見は？

班別討議の集約

ごみ有料化については、「導入すべき」が大勢を占めます。

<賛成派の意見>

ごみ減量の動機付けになる。実際の減量効果もある。
ごみが多い人が、多く払うのは当然。(不公平感の解消)

<賛成派の意見>

減量効果には疑問。(再び増えるのでは…)
「負担すること」での啓発面のマイナス
不法投棄の増加を懸念。



事務局からのリクエスト

有料化の目的は、どちらに重きを置きますか？
ごみの減量推進
不公平感の解消

28